

第125号

中学生特集

藤枝明誠ニュース FUJIEDA MEISEI News

発行 学校法人 藤枝学園 藤枝明誠中学校・高等学校 渉外課広報担当/Tel 054-635-8155/Fax 054-635-8494/Email meisei@fgmeisei.ed.jp/URL <https://www.fgmeisei.ed.jp>

10月28~31日 中学3年生修学旅行 新しい発見がいっぱい!いざ!古都散策



修学旅行での学び



J32HR 大畠 歓奈
(萬葉集大洲小僧校出典)

生や観光客がたくさんいました。今回訪れた場所は、そのようによく人が多てもゴミが全くないな町並みを見ることができました。これは、地元の人た

私たちちは10月28日から21日までの4日間、修学旅行で奈良・京都に行きました。そこでいろいろなことを学ぶことができました。

た。特に良かったことは、日本の歴史や文化を肌で感じたことです。1日目の光院では抹茶体験をし、茶室に対する感じ方が一変しました。2日目は東大寺や

ともとともに



J31HR 岩ヶ谷 龍聖
(皇田市立相倉東小学校出身)

私たちちは、10月28日から31日の4日間で京都・奈良に修学旅行に行きました。今回の修学旅行では、普段の学校生活では得られない貴重な体験ができました。友達と協力する中で、仲間間

書で見た建物を実際に目にしました。教科書など、歴史的に有名な場所を訪ねました。都を巡り、見学する場所も、昼食の時間を自分たちで決めていました。これはとても変で、いつも旅行の計画を立ててくれる両親への感謝を心から感じました。タクシーの運転手さんが面白い解説をしてくれて、とても楽しかったです。中でも、閣寺が最も印象的でした。陽光にさらされて、金箔がこうこうしく輝く姿に圧倒されました。そして、現�재をタクシーに忘れてしまったとき、御朱印代を貸してくれた友達も輝いて見えました。

でも印象に残ったお寺は慈光院でした。お寺や神社のほとんどは神様が過ごしていいる場所と言われる中、慈光院は人が神よりも優先される場所であるという法話

私たちができること



I31HP 國木 理花

体験からの学び



J32HR 浜田 知哉
(藤枝市立青鳥小学校出席)

まず、1日目は抹茶体験で
す。最初は堅苦しいイメージ
を持っていましたが、そんな
ことはないと聞き安心しまし
た。そして実際に体験してみ
ると泡立てるのが難しかった

とができました。今回学んだことを言葉にして伝えていくことは、この先も世界文化遺産を守り続ける上として自分達のできるひとだといました。

ます(誌面中、学年・HR前の「J」は中学校をさします)

私たちちは神奈川県と東京都へ1泊2日のオータムキャンプに行きました。私は研修で、職業に対する関心や興味を深めるとともに、礼儀について学ぶことができました。JTBスポーツマーケティング部では名刺交換の仕方を指導してもらいました。私たちのため一人ひとりの名前が入った名刺を用意してくださいました。渡し方から受け取り方まで説明してください、社会で働く人の姿勢研修では、名刺交換やテー

礼儀を学んだ2日間

J 21 H R 平野 翔大
(藤枝市立高洲南小学校出身)

や心遣いを感じながら学ぶことができました。

そして社員の方が働いて人としての礼儀やマナーの大切さを改めて実感できま

した。そして、この経験を通して、社会人としての礼儀やマナーの大切さを改めて実感できました。そして、この経験を

お互いが心地よく関われる環境を作りたいです。

自然が作った芸術作品

J 12 H R 増田 千尋
(藤枝市立高洲南小学校出身)

私は、フィールドワークで浜松フラワーパーク、竜ヶ岩洞、中日新聞浜松都田工場に行きました。中

なかで私は竜ヶ岩洞が強く印象に残りました。中

には「黄金の富士」や「知の七福神」など、名前のついているものもあり、人間の想像力と自然の素晴らしさを感じました。鍾乳石は1cm伸びるのに約100年かかると言われています。

竜ヶ岩洞にはそれが約100mもあることを知り、

とても驚きました。ほかにも、竜ヶ岩洞には新種の生き物もいるそうです。興味深いことがまたたくさんありました。これからも調べてみたいですね。

今年も開催!

好奇心と体験で掴む、本物の知識。

中学1年生 地域探訪

10月29日、中学1年生は地域探訪として竜ヶ岩洞、中日新聞浜松都田工場へ行きました。自然の美しさや新聞の魅力に触れる良い機会となりました。

◆10月29日

- 横浜中華街(昼食・散策)
- 日本アセアンセンター(J 21)
- WFP協会(J 22)
- 新宿三井ビル
- 東京大学
- JICA地球ひろば
- 科学技術館

学校到着

学校出発

○竜ヶ岩洞

○浜松フラワーパーク

○中日新聞浜松都田工場

藤枝駅

学校出発

○竜ヶ岩洞

○浜松フラワーパーク

○中日新聞浜松都田工場

藤枝駅

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

○東京大学

○JICA地球ひろば

○科学技術館

学校到着

学校出発

○横浜中華街(昼食・散策)

○日本アセアンセンター(J 21)

○WFP協会(J 22)

○新宿三井ビル

</



普通科リベラルHSコース
34HR 紅林佑太
(牧之原市立相良中学校出身)

全国ベスト4への挑戦

私たち全日本大会ベスト4を目指し、日々努力してきました。3年間練習してきました。

初戦の日大三島高校との試合では緊張もあり、開始数分で失点してしまいました。しかし、部員や観客の皆様の応援のおかげで逆転勝利をすることできました。準々決勝では、相手がインターへかけた藤枝東高校ということもあり、これまでの借

いやプリンスリーグで負けた藤枝東高校ということもあり、これまでの借りに活かしていきたいです。そして、この経験を今後に活かしていきたいです。



第104回全国高校サッカー選手権静岡県大会準々決勝／ベスト8

得することができました。初戦から沢山の応援をいただき、ありがとうございました。今大会では主力の大怪我があり、スタートのメンバーが変わり、一人ひとりの役割が不正確になってしまったという課題が残りました。

りを返そうという気持ちで挑みました。しかし延長戦の後半で1点取られてしまい、残念ながら負けてしまいました。個人としても攻撃の選手でありながら得点を決めることができず、課題が多く見つかった試合になりました。この大会を終えて、サッカーだけでなく監督や指導者、最後まで応援してくれた部員や家族の人としても成長させてくれました。私はこの経験を今後活かしていきたいです。



[AT ALL COSTS]何がなんでも

全国高校選手権静岡県予選が11月9日に静岡県武道館で行われました。男子決勝リーグ最終戦が行われ、本校は浜松開誠館を104-64で退け3戦全勝し、4連覇で10度目の全国大会(12月23日開幕、東京体育館/京王アリーナTOKYO)に出場します。

優勝



目指せ全国優勝

した。今後この課題を克服するために、自分のやりたいことをするのではなく、チームのために何が必要かを一番に考えて行動することが大切だと思います。そして、チームとしては夏の悔しい結果があります。敗因である3年生の自覚の無さという点は少し良くなっています。ウインター大会の結果は、3年生がどれだけチームを引っ張ることができます。昨年のベスト8の壁を越えられるように、チャレンジとして挑み、チーム全員で日本一を取ります。これからも応援宜しくお願ひします。

令和7年度静岡県高等学校対校駅伝競走大会

11月2日(日)にエコパスタジアム周辺コースにて実施されました。3区までは、トップをキープし健闘したものの、本命視されていた浜松日体高校に続いて第2位



各区間の結果
1区 平山 斗夢 (32HR) 区間4位
2区 梁瀬 伊織 (34HR) 区間賞
3区 栗田 優士 (33HR) 区間3位
4区 熊切 一護 (34HR) 区間4位
5区 木瀬 朝陽 (35HR) 区間2位
6区 落合 康 (31HR) 区間9位
7区 高橋 長音 (23HR) 区間賞



ローガンは「笑顔」。笑顔で握手をつなぎ、楽しみながら走ることを意識しました。私自身、これまで大舞台を走った経験がなく、自信が持てない部分もありました。しかし、監督やチーム仲間、応援してくださる方々の期待に応えられるような走りを心掛けて挑みました。昨年の悔しさを胸に、この日のために1年間努力を積み重ねてきました。一人ひとり自分が選ばれた区間の役割を果たし、3年前に優勝した世代を超えることを目指して挑みました。今年のス

ロックは、「県大会優勝・都大路出場」を目指し11月2日にエコパスタジアムで開催された静岡県高校駅伝に出場しました。昨年の悔しさを胸に、この日のためには、1年間努力を積み重ねてきました。一人ひとり自分が選ばれた区間の役割を果たし、3年前に優勝した世代を超えることを目指して挑みました。結果は惜しくも第2位となり、昨年のリベンジを果たすことはできませんでした。強いて走り切ったこの経験を次につなげていきます。沢山の応援、ありがとうございました。

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会

第28回東海高等学校新人陸上競技選手権大会が草薙総合運動場陸上競技場で10月25日(土)~26日(日)に開催されました。高校1、2年生の新進気鋭の選手たちが東海エリアの頂点を競い合いました。



の方に一から高跳びを教わる機会に恵まれ、着実に記録を伸ばすことができました。これまで私はよりも記録がずっと上で背中を追っていた友人に、今は追われる立場となりました。

「東海大会は来シーズンのインターハイに向けての練習だと思って気楽にやろう、こんな気持ちで試合に臨みました。跳躍前に「行きます!」と声に出しこのところ、明誠の仲間たちが返事をくれ、鳥肌が立ちました。競技の結果は自己ベストを3センチ更新して、第5位に入賞することができました。応援ありがとうございました。

SHIGA 2025国民スポーツ大会



【ライフル射撃】
ビーム・ライフル少年男子立射60発競技
悔しく終えた国民スポーツ大会
普通科リベラルHSコース
24HR 秋山 和輝(藤枝明誠中学校出身)

私は国民スポーツ大会の射撃競技BR60Jに静岡県代表として出場しました。今回私は、予選の東海大会を623点という自己最高点の記録で突破し、最高の状態で全国大会に臨みました。しかしながら、本選では良い結果を出すことはできませんでした。試合の後、なぜ満足のいく結果を出せなかつたのか振り返ったところ、一番の反省点は銃の調整の甘さだと考えました。ライフル銃には一番後ろにバットプレートというパーツが付いているのですが、これを外し忘れ、決めていた調整が全て元の位置に戻っていました。これが事前の練習で調整できず、私の精神面も不安定なまま本番を迎えてしまったことが大きな原因でした。このようなミスをしないよう、今後も練習を重ねていきます。応援ありがとうございます。



【バスケットボール】
少年男子
国民スポーツ大会での経験を今後に
英数科アクティブラボコース
16HR 森 秀野(北海道北見市立南中学校出身)

私は国民スポーツ大会バスケットボール競技に静岡県代表として出場しました。このチームは明誠の生徒が多く、普段から一緒にプレーをしているチームメイトが中心でしたが、最初は思うようにチーム作りができませんでした。いつも支えてくれていた先輩方がいない中で、誰がチームを引っ張るのかという課題があつたからです。

しかし、練習や試合を重ねるうちに、互いに「自分たちが引っ張る」という自覚を持ち、行動で示すことができるようになってきました。その結果、東海ブロック予選を突破し、全国大会第5位という成績を収めることができました。この経験で培った主体性と協調性を生かし、今後は日本一を目指して努力していきます。



夢に見ていた大舞台